

日本勤労者山岳連盟・静岡県勤労者山岳連盟

長泉麗峰山の会 (since 1994)

第31期・11巻

2026年

2月号

NO. 293

仲間と仲間を結ぶ機関誌



ゆ..ほう

Susono Reihou Alpine Club



雪の記憶

2025/12/29

八ツ・西天狗岳 (2646m) 西尾根

報告・当面の予定

- 11/22 (土) 会 三方分山～パノラマ台 後藤、峰田、伊藤、斎藤
 12/06 (土) 会 北横岳 後藤、勝又、峰田 (現地まで)
 12/29 (月) 会 西天狗岳・西尾根 後藤、村山 (静岡・安倍っ子山の会)
 2026/01/11 (日) 会 県連交流ハイク・浜石岳 後藤、峰田
 01/24 (土) 会 富士山・宝永山上 後藤、勝又、峰田

会報ピックアップ

「あさぎり」 あさぎり山の会 1月号 NO.387 P52 電子版

報告・予定・スケジュール・個人山行報告・会山行報告。鳳来寺山、忘年山行＝帆掛山・梶原山、富士山・剣ヶ峰大沢「岩樋部遡行」、蝶ヶ岳、十二ヶ岳・西湖岩、金勝(こんぜ)ALPS・飯道山、小豆島・星ヶ城山(816m)、高柄山～御前山、西穂・独標。計画、理事会報告、掲示板、ほか

「甲斐峰」 山梨山の会 1月号 NO.343 P13 電子版

運営委員会・山行部・月例会報告。雀の学校＝竜門峡～栖雲寺、たいら山、太郎山～虚空蔵山～和合城跡、丹沢・大山(ケーブルカー利用)、篠井山。計画＝陣馬山(干支の山)、入笠山(ゴンドラ利用)、ほか多数。11月山行状況＝茅ヶ岳24名登山・う～ん交差が大変。お知らせ。山日新聞遭難状況＝70歳以上の高齢者・キノコ狩り・ヘッデンなし遭難多し。そのほか。

「ハイキングだより」 新潟・みちぐさハイキングクラブ 1月号 NO.374 P16 電子版

新春にあたって＝「いけ口」のすすめ・・・生意気になろう・みちぐさ山の会会長・富永弘＝「いけ口」とは、口応え・・・グライダーでなくプロペラ人間の如く、登山は、主体的に向き合うことが大事。

報告＝大岩山・黒禿の頭・・・初ラッセルだった。みちぐさ忘年会・太鼓、笛の演奏はサイコーだった。先輩方の「名言」あり。

山行一覧表、今年の総括と来年の抱負＝山行管理、私の大往生(涅槃絵)＝富永さんは、最近「ガイドや技術に関する情報は過剰なまでに見られるが、山と深くふれ合った滋味のある紀行が目につかないのだ」といっている。

私の推し本＝「凧(なぎ)の人・山野井妙子伝(柏澄子著)・・・泰史の影の存在の妙子の心情は如何に??魚沼の鳥＝ミコアイサ・白と黒のコントラストが美しい小型カモ。パンダカモの愛称。山行計画。2025思い出のアルバム＝数々の楽しい思い出

アルバム。新春お茶ルーム＝Iさん、体力の衰えを感じスポジム通いだが、毎日やり過ぎで、ふくらはぎと肩を痛めた。体も三寒四温かな。余談ですが、Iさんは編者と誕生日が一日違いだ、実際は同じという。

表紙の言葉、報告＝奥大光山、山伏、沢口山、笠取山、天上山（神津山）・・・1/1
登山。七面山、真富士山・・・百均で購入したクマ対策の「鉄砲空撃ち」使用。下
山後、100円風呂（ええ～、安い！！）、西天狗（拙会と）、日向山、丹沢・



静岡新聞から転載

窓辺

原田 純夫

ハマったら最後

僕、職業は動物写真家。野生動物が好きで、憧れていたマウンテンゴート（シロイワヤギ）という動物を撮り始めた。それがやめられなくなってしまった。俗に言う、ハマったというやつ。

もちろんすぐにプロになれたわけじゃない。その動物は北米のロッキー山脈に生息しているから、渡航費や滞在費がけっこうかかる。日本でアルバイトや短期就職をしてお金を貯めては撮影に出かけていた。やがて写真が取材費を捻出し、なおかつぎりぎりの生活費を稼ぐまでに7年もかかってしまった。

満を持して米モンタナ州のロッキー山麓に移住したのが31年前。妻と、当時4歳の娘も巻き添え。以来、マウンテンゴートの撮影をやめる理由もないから、山歩きを続行中。最近ではビデオも撮って、押しつけがましく人に見せている。

ここまで話すと、「その動物の何が、そんなに魅力なの？」と、必ず聞かれる。だから答えは用意している。容姿端麗だとか、生きざまが真摯でたくましいだとか、生息環境が風光明媚だとか。でもそれは後から思いついた言い訳みたいなもの。僕自身の興味や性格や能力などが合致したわけで、ハマったら最後、理由なんか要らないんだよ、実は。

もしもあなたの近辺に、奇怪なことに情熱を注ぎ、信じられないような時間や資金を費やしている人がいたら、その理由を聞いてみて。おそらく腑に落ちない返事しか得られないと思うけど、喜々とした表情を見れば、少し納得がいくかもしれないよ。

（動物写真家＝藤枝市出身）

窓辺

原田 純夫

偉大な国立公園

僕の主な撮影フィールドは、地元米モンタナ州のグレイシャー国立公園。お目当てのマウンテンゴート（シロイワヤギ）は高山帯にすむ動物だから、道路が高いところまで通っているのが選んだ理由。その公園の広さは4100平方マイル。静岡県の半分ちよい。

「じゃあ、そこに住んでるの？」って日本人からは聞かれるけれど、「フー」。米国の国立公園は観光や教育のために利用するけれど、道路や建物は最小限にして原生の自然を残している。公園全部が、日本の特別保護地区に相当するから、野花を摘むのも、野鳥の羽を拾って持ち帰るのも、動物に餌をあげるのも禁止。狩猟もだめ。林業なんてもってのほか。基本的に私有地は無く、管理職員の住宅が少し。いくつかのホテルとキャンプ場があるだけなので、一般人は住めない。僕は公園の外側に住んで、日帰りで通うか、キャンプ場に滞在する。

モンタナ州の南端にはイエローストーン国立公園がある。面積は約9千平方マイル。静岡県よりも広い！ 1872年に世界で初めてできた国立公園だ。それ以降20世紀初頭にかけて、米西部の、まだ先住民しか住んでいなかった土地に大規模な国立公園がいくつも設立された。

折しも米国は開拓時代。5年間その土地に住んで開墾すれば、65ドルをもらえるとという大盤振る舞いの制度があり、西部に白人が押し寄せた。もしも、公園設立がもう少し遅れていたら、取り返しがつかない開発がされてしまっただろう。

（動物写真家＝藤枝市出身）

この人

県立森林公園のチーフ自然解説員

せしも あき
瀬下 亜希さん

(浜松市浜名区)



通算約17年にわたって県立森林公園で勤務し、園内の豊かな自然を紹介する展示や体験イベントを企画する。ボランテアらと共に環境保全の活動にも取り組む。開園60周年を迎え、同園の歩みを振り返る特別展を来年3月31日まで開催している。57歳。

「なぜ自然解説員に。二元々自然は好きだった。美大でデザインを学んだ後、生態系の保護や自然再生に取り組み団体で、情報発信用のグラフィック作成などを担当した。結婚後に浜松へ移住し、公園を訪ねた際にボランテアを募集していた。経験を生かせると考えた。アルバイトを経て、5年ほど前から正規職員になった」

「森林公園の魅力は。二ホンアカガエルやサシコウチヨウなど希少な動植物が多く観察できる。湿地もあり、街中では失われた環境が残っている。子どもが身近に自然と触れ合える『静岡の宝』だと思う。」

「公園内で長年観察を続ける中でも、日々新たな発見がある。絶えず変化する自然を記録するのは面白く、死ぬまで飽きることはないと思う。保護の取り組みとしては、ボランテアと共に草刈りなどの保全活動を行い、絶滅危惧種であるリンドウ科のイヌセンブリの数を増やすことができた。うまくいかないことも多いが、試行錯誤のプロセスも楽しい」

「森林公園は人の営みの変化とともに姿を変えてきた。開園当時はアカマツが多かったが、暮らしまがが必要なくなった現代では、カシやシイなどの広葉樹が増えた。豊かな生態系を維持することは大切だが、こういった変化を受け入れ、『自然な姿』とは何かを考えていきたい」

(浜松総局・山川侑哉)

12/27



金時山と足柄峠で配布する祈念バッジ

初日の出に合わせ「祈念バッジ」配布

小山の金時山と足柄峠

小山町観光協会は2026年1月1日、町内の金時山と足柄峠で、初日の出に合わせた恒例の「祈念バッジ」の配布を実施する。

金時山山頂の猪鼻神社付近では、午前6時半から開始する。町出身とされる童話の英雄金太郎をデザインした450個を用意する。お神酒を振る舞う企画も予定している。足柄峠では笛塚近くで午前7時ごろから、足柄城跡の石碑と富士山などが描かれた250個を配る。

金時山では52回目、足柄峠では47回目の伝統行事。初日の出の予想時刻は午前6時50分ごろという。問い合わせは町観光協会へ電0550(76)5000へ。

12/25

「回想、2000 回登山・32」

2026/01/25

後藤隆徳

つづき

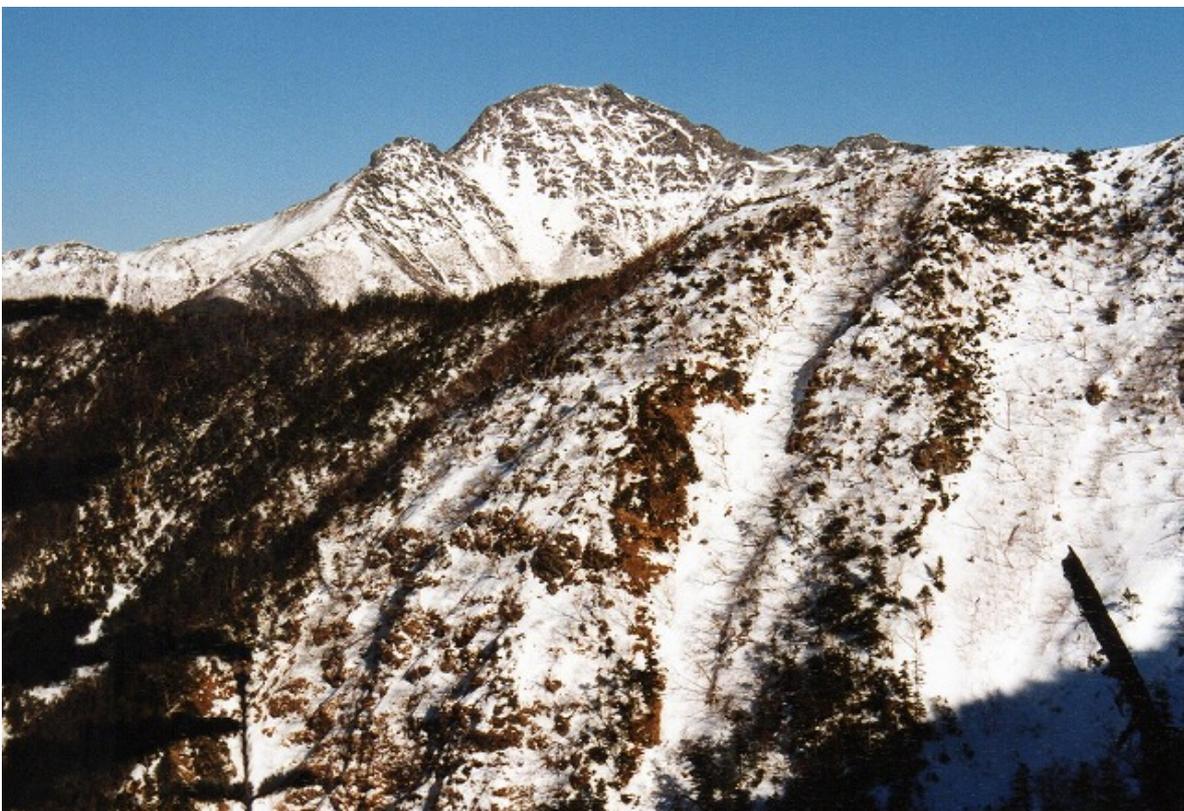
NO. 872 1998/12/29～31 南ア・塩見岳 後藤、大根田、高岡、加藤、山本、近藤

<https://susono-reihou.babyblue.jp/553.pdf>

この年は非常に寒かった。記録には、「ザックの中の化粧水が凍った」とある。最高齢女子 57 歳の KN さんは 18kg 背負った。KT が車に鍋を忘れた。30 日、山頂は風雪だった。31 日下山時、峠で「あさぎり山の会」斎藤・桜井氏に会った。



塩川駐車場



12/29 塩見岳



12/30 三伏峠タック朝



塩見岳小屋



山頂付近



下山途中



三伏峠テント場



あさぎり山の会 齋藤・桜井氏



三伏峠



12/31 下山・三伏峠



下山

| | |
|--|---------|
| 長泉麗峰山の会・山行報告書 | 文・写真 後藤 |
| 山行番. NO. 2104 | |
| 日 時 2025年12月29日(月)晴・上部強風 | |
| 山 域 北八ッ・西天狗岳(2646m)西尾根 | |
| コース 唐沢鉱泉 6:30-第一展望台 8:29-西天狗岳 10:00~30-唐沢鉱泉 13:07-長泉 17:30 | |
| 標高差 唐沢鉱泉約1865m~西天狗岳2646m=約781m+30m | |
| 難易度 非常に困難 困難 やや困難 レ普通 やや易しい 易しい | |
| 外人さんも多い、賑わいの雪山だった | |
| 参加者 後藤、村山俊一(静岡安倍っ子山の会) =2名 | |

同行者が見つかる

年末の山は何処か予定したが、なかなか相方が見つからなかった。最近、加齢と共にペースが上がらず、なかなか若い方と行き難い状況。ユックリなら上れるが、速く歩けない。若い女子にも抜かれるから情けない。

県連のネットワークで参加者を募ったが誰も居なかった。結局、単独で敢行と思った矢先の27日、静岡安倍っ子山の会のM氏から参加申し込みがあった。雪山単独は、避けたかったので同行は有難かった。



南諏訪から、左が天狗岳



小松山荘

懐かしい「小松山荘」

M氏とは、29日現地合流なので、私は28日、南諏訪IC近くで泊った。宿は昔、美濃戸上で「小松山荘」を営業していた、小松武一氏の娘さん(といってもそれなりの年齢)がやっている民宿。その名も「小松山荘」という。

娘さんは、武一氏に目元がよく似ていた。この民宿は先日、北横岳に続き二回目。その時、「冬はダルマストーブがガンガン燃えていた」など、昔話をしたら娘さんは「お父さんを覚えていてくれた」と喜んだ。壁に写真があり、武一氏は若いころ、八ヶ岳山麓で森林軌道利用の木材搬出をやっていたようだ。

57年前のこと

・・・初めて八ヶ岳に入ったのは56年前、1969年4月29日～5月5日。私は22歳。沼津北嶺登山会の仲間8名と一緒に。当時、移動は電車。下土狩駅から御殿場線～東海道線～身延線～中央線で茅野に着き、バスで美濃戸に向かった。兎に角大変だった。

美濃戸から小一時間歩けば、前述の「小松山荘」がある。豪気で気の良い小松武一さんが熱いお茶を出し迎えてくれた。その後も行く度に世話になった。後年、武一氏は亡くなり、弟さんが後を継いだ但最终的に廃業した。

当時は、山といえばクライミング。小同心・赤岳ショルダー・南峰リッジ・阿弥陀岳北西稜など登攀した・・・(大同心は70年1月登攀)



北嶺登山会メンバー

前列・大村武彦（当時会長） 中列・左から＝渡邊吉美、芹澤、後藤育三、山本角男
後列・左から＝女子不明・池田・後藤・加藤

民宿にスキーの先客

宿に入ったら先客が居た。町田市の方。75歳の方。ゲレンデスキーで3ヶ月滞在という。食事は自炊。料金は、1ヶ月約7万円。長期滞在で通常約半額だった。しかし、それにしても3ヶ月、ゲレンデスキーで飽きないですかの質問に「飽きない」と断言した。私などゲレンデスキーは、半日で飽きるの信じ難かった。

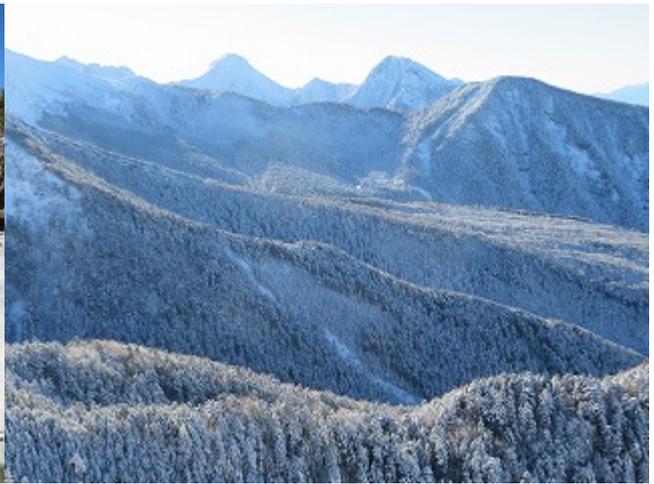
山は登山者でゴった返していた

29日、5時前発。フロントガラスは前回同様ガジガジ。唐沢鉱泉まで雪は少なく問題なかった。人は溢れていた。人気の高さが伺えた。M氏と無事合流。氏は朝食がまだだったので30分待った。完璧なトレースなので、アイゼンなしで出発。

峠先でチェーン・アイゼンを履いた。やはり歩き易い。天気は快晴。第一展望台に出



M氏



赤岳方面



山頂下で俯瞰

ると風が強くなった。脱いだヤッケを着た。

この辺りで私はペースが合わないので、M氏に先行して貰った。氏は、69歳になったばかり。来年2月で79歳の私と10歳若く元気は良い。途中で単独の女子に会った。冬の西尾根は3回目といった。往復でなく周回。これまた元気が良い。

第一展望台を経て第二展望台から下って最低コル着。チェーン・アイゼンは脱いで12本アイゼンを装着した。更に上り易くなった。



巨石帯



山頂下

コルから巨石帯を抜けて山頂に向かう。周りには誰も居なかった。程々の雪でトレースもシッカリしているので上り易い。ただ、「ゼーゼー・ハーハー」息が切れる。何故、こんなに息が切れるか不思議だった。

・・・大きな病気がなくても、加齢に伴う筋力の低下は息切れの大きな原因になります。年齢を重ねると、手足だけでなく横隔膜や肋間筋などの呼吸筋も衰え、呼吸が浅く速くなります。そのため、少し動いただけでも息が上がりやすくなるのです・・・ネット（納得）

巨石帯を抜け山頂下に達した。上から誰か下って来る、M氏の見覚えのあるヤッケが見えた。しかし、氏は私を確認すると踵を返し、再び山頂に向かった。数分後、氏と山頂で合流。トータルで約30分の差だった。朝、朝食時、氏を30分待ったが、私が先に行けば、丁度良かったなどと思った。（笑い）

何処かの方に写真を撮って貰った。山頂は何故か風が殆どなかったので食事を摂った。お汁粉を飲み、ドラ焼きを食べた。たくさん食料を持参したが、消費したのはこれだけ。もう少し食料計画の工夫が必要と思った。氏は、おむすびを食べていた。



西天狗山頂（左 M 氏）



名古屋の84歳の方

下山を開始した

30分で下山開始。東天狗山頂に多くの方が、「こぼれそうに」見えた。西天狗は多くが周回の感じ。私は既にその気概はなかった。巨石帯を慎重に下る。時間が早いので下から沢山上って来る。近くに黒百合ヒュッテがあり、標高差が適当で人気が高いか。

途中で外人4組8名に会った。中に男女もいた。観光なら分かるが、日本の雪山は外人にも魅力があるのだろうか。

第二展望台付近で会った女子（最後の写真の二人）は、唐沢鉱泉送迎バス利用で来たという。山頂には行かないが、13:30まで下山して温泉を楽しんで帰るといった。そんな楽しみ方もいいね。

第一展望台で会った名古屋から来た高齢男性は84歳だった。毎年、雪の西尾根を専門で上っているそうだ。しっかりピッケルを背負っていた。この方も山頂まで行かないが、その「パッション（情熱）」に頭が下がった。

結局、私は写真撮影や登山者交流で時間が掛かった。M氏に先行して貰ったが、途中で待機してくれていた。

誠に申し訳なく、有難い感謝の気持ちで一杯。氏とは唐沢鉱泉でサヨナラ。長泉着17:30。明るいうち帰着で安全安心走行だった。



ここまで楽しんだ女子二人（第二展望台付近）

追記・・・雪の西尾根、今回山頂まで時間は約3時間半。1月も約3時間半。（結局、今年は年始・年末2回上った）2024年は約3時間10分。2022年は巨石帯まで。I君は単独で約3時間半だが、女子1名参加でペースが遅かった。以上、概ね雪の西尾根は3時間半程度。今回、特に遅い訳ではないが、前述の通り「苦しさは最上級」だった。

| | |
|---|---------|
| 長泉麗峰山の会・山行報告書 | 文・写真 後藤 |
| 山行番. NO. 2105 | |
| 日 時 2026年01月11日(日)晴・強風 | |
| 山 域 由比・浜石岳(707m) 県連交流ハイキング=62名+3名(遅刻) | |
| コース 由比駅 8:14-旧東海道-林道-林道引き返す 10:06-鉄塔取り付き-標高約500m 10:46-薩埵峠からの登山道 11:00-立花池分岐 11:15-但沼分岐(昼食) 11:55~12:20-浜石岳 12:57-由比駅 14:54 | |
| 標高差 由比駅約10m~浜石岳707m=約700m | |
| 難易度 非常に困難 困難 やや困難 レ普通 やや易しい 易しい | |
| 昨年につき、新年早々、藪漕ぎだった | |
| 参加者 後藤、峰田、村山俊一(静岡安倍っ子山の会)=3名 | |

由比駅から登山

電車で新年恒例「県連交流ハイク」の浜石岳に向かった。この山は、山頂展望は素晴らしいが、車道が多く登山の面白みがない。かなり以前、車道が少ない、西面の興津・但沼からは上った。

今回、行く気になったのは、地形図を凝視したら、由比駅からバリエーション的初見ルートがあり、面白そうだったからである。



由比駅



旧東海道

電車賃は680円。駅前から陸橋を渡ると「旧東海道」だった。オジサンが掃除をしてくれてくれた。街は名残の軒が連なっていた。地元の方が沢山歩いていた。聞けば、今日は「どんどん焼き」といった。

昔、東部は「どんどん焼きは14日」だったが、最近は休日に行くようだ。右折して林道を上る。平地の無い由比は、一気に物凄い急登が続いた。今回のコースは、標高約200mの林道から、点線の送電線巡視路を辿り、薩埵峠からのハイキング道に出て、浜石岳に向かうものだった。

巡視路入り口が不明

いい感じの林道を大汗掻いて上る。ただ、旧東海道から右折する所に道標はあったが以後、いっさい無かった。GPSを確認しつつ進むが、どうもスッキリしない。

林道をドンドン進むが、途中から下りだした。これはマズイで一旦戻って入り口を確認するが分からない。結局、帰宅し軌跡をよく見たら林道が送電線入り口に達していなかった。(下記地図参照)

鉄塔巡視路を上る

結局、予定コース南の別鉄塔巡視路を標高 500m 峰まで上り、薩埵峠からの一般道を目指した。鉄塔まで標高差は 100m ほどだが、かなりの急登だった。その上、JR 電車を止めたハンパない強風がゴーゴーと唸っていた。

鉄塔に 11 時前に着いたが、交流集会は山頂に 11 時集合だった。まだ、山頂まで約 2 時間。携帯で T 理事長に遅れる旨を連絡する。理事長は、「車を出して迎えに行く」と配慮してくれたが、林道に戻るのも難儀なので丁重にお断りした。



鉄塔

やれやれ、今年も昨年につき、新年そうそう藪漕ぎだった。低山はバリを狙うことが多いので、どうしてもそのようになりがちである。当たり前だが一般道は歩き易い。小 1 時間で興津・但沼コースに合流した。

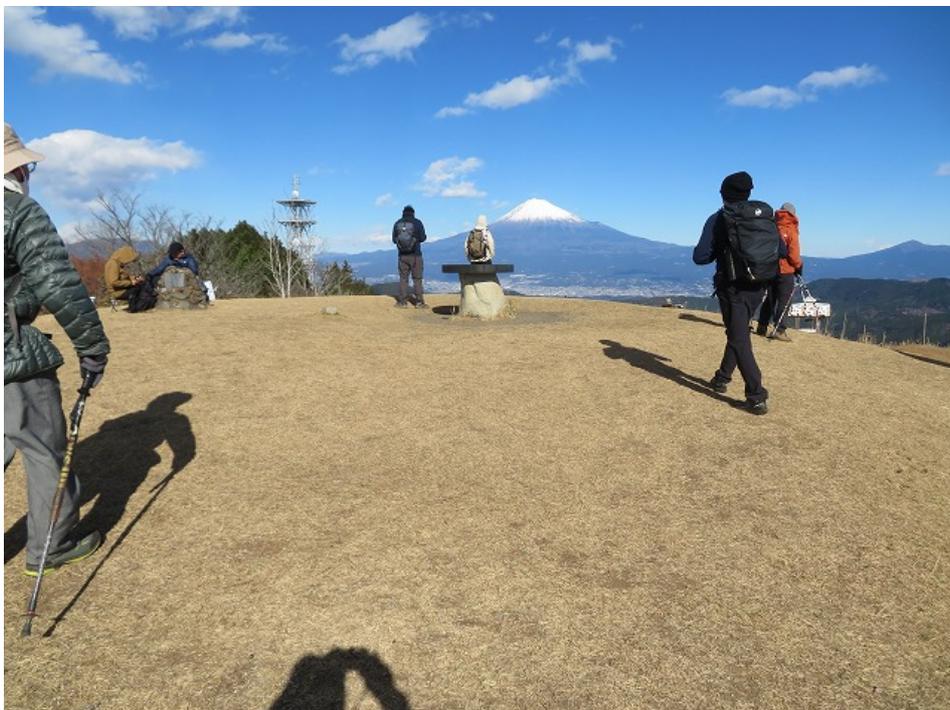
連休で早くも下山の方が多かった。単独の若い衆は、名古屋からといった。下って行くと別の大きな鉄塔があり、何人か昼食だった。我々もそこで昼食にした。薩埵峠からの登山者が沢山下って来た。人気の山だが、周回が取り難いのでどうしても往復になってしまう。往復は長い。

下山する静岡のイトーさんに会った。年齢は 77 歳。私より若かった。山岳会は入っていないが、若い衆に頼まれて登山の面倒をみているといった。「高齢で頑張っている方に会うと励まされる」と意見が一致し分かれた。

階段がある急登を上る。交流会を終えた県連の仲間がゾロゾロ降りて来た。我々に気が付いて丁寧に挨拶をする方も居れば、全く素気ない方も居る。同じ県連でも様々である。山頂に着いた。あれ程吹いていた風は弱くなった。

山頂で沼津労山と交流

富士山が素晴らしい。これだけの展望は中々ない。良い理由はある。確かに富士五湖周辺など富士山は大きく迫力ある。ただ、欠点は富士山が南なので早朝・夕方以外、逆光の場合が多くイマイチ。浜石は南西から見るので裾野も大きく全く違う。



浜石岳山頂



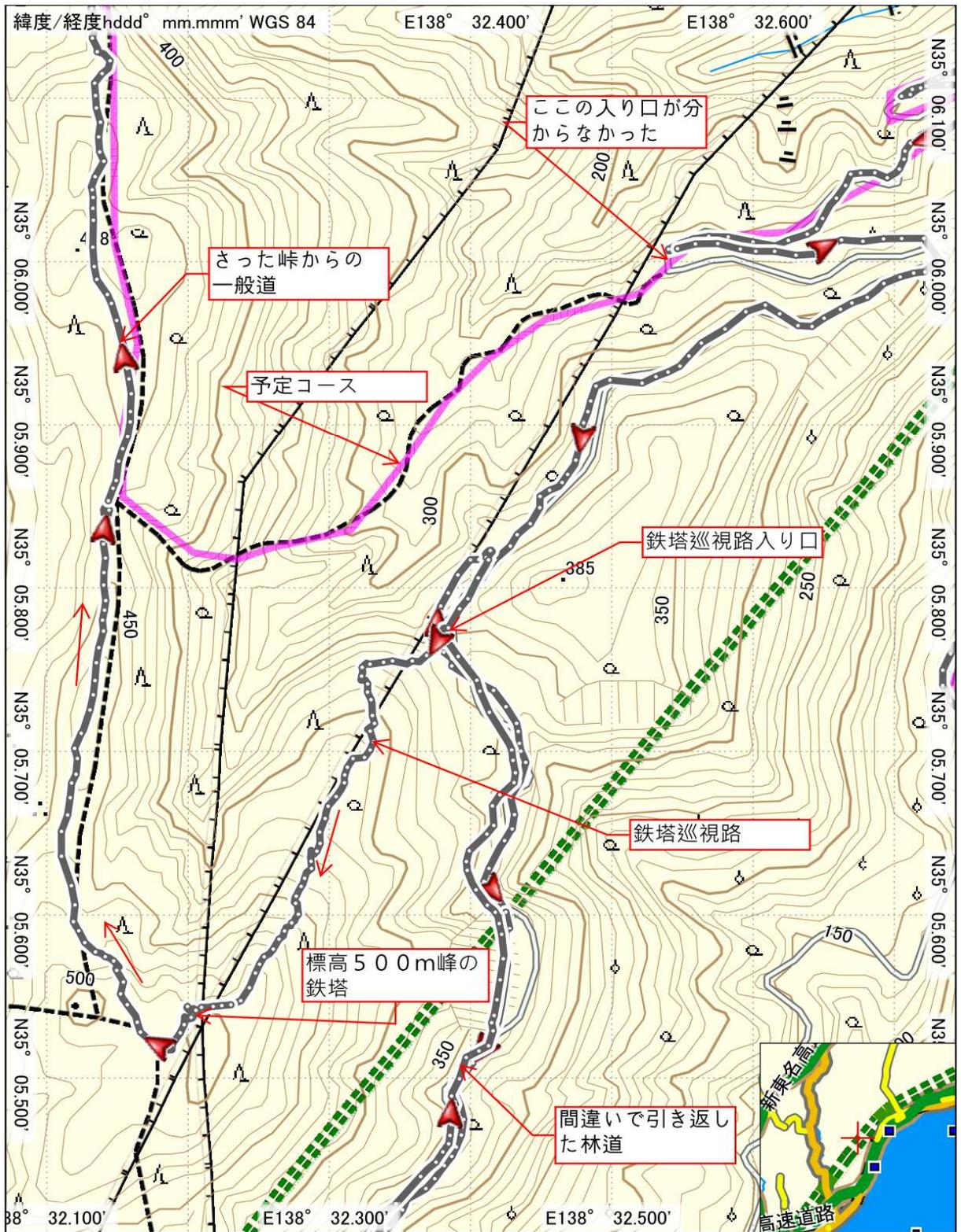
県連集会



晴れ着

山頂に沼津労山の3名だけ居た。Uさんが、「会えて良かった」といった。リップサービスでも嬉しい。林道をブラブラ下り交流。常連のNさんは脳梗塞、Eさんも退会と聞いてガックリ。来期、県連会員は300名を切った。うなずけた。

由比まで林道が長い。路傍のミカンを少し頂いた。疲れた体が癒された。町で成人式を終えた若い娘と会話。若い人はピカピカだ。旧東海道で名物「サクラエビ」を買った。50gで2000円。一匹いくら？200匹なら10円か。ピンク色が優しかった。



Japan Topo 10M Plus V3
 CanvasMapple Co., Ltd 2014
 Garmin Corporation 1995-2014

2026/01/12 9:14:20

GARMIN.

速報 01/24 (土) 富士山・宝永山 2352 上 標高差=1000m 後藤、勝又、峰田



日本勤労者山岳連盟
静岡県勤労者山岳連盟・東部ブロック
長泉裾野・麗峰山の会（愛称・れいほう山の会）

会報「れいほう」

2026/01/25

第31期・11巻 2026/02月号 NO.293

連絡先 静岡県駿東郡長泉町下土狩 1541-12 徳山荘
090-8956-9990 055-986-6075

HP <http://susono-reihou.babyblue.jp/>

Mail takanori_reihou8888@yahoo.co.jp



富士山・御殿庭上 2026/01/24